

年始の挨拶

沖縄県宗務事務所長
中岡 順忍



令和6年(2024年)の新年にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

まず、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた皆さまさらにはご遺族の皆さまへ心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。

また、余震が続く中、避難生活を余儀なくされている方、不安の中におられる方の心情を察し申しあげます。一刻も早く平穏な日々をお過ごしになれますよう願っております。

おきなわ

《2024冬・第121号》

浄土真宗本願寺派
発行 沖縄県宗務事務所
発行人 中岡 順忍
〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-18-2
電話(098)860-7009
ファックス(098)860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

さて、沖縄特区内寺院の皆さまには、本願寺沖縄別院並びに特区内寺院の護持発展に各段のご尽力を賜っておりますこと、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

昨年12月1日(金)、AIM・ユニバースでだこ小ホールにて修行いたしました「沖縄県宗務特別区『親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要、沖縄開教事務所設置50周年記念法要』」においては、多くのご協賛をいただき無事に終了することができました。これもひとえに、特区内寺院ご住職をはじめ、寺族・門信徒や有縁の皆さまのご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、日本経済は回復しつつありますが、一般市民の社会生活は以前のようには戻らず、特にお寺を取り巻く環境は

大きく変わり、これからの寺院活動について深く考える機会となりました。

平成27年(2015年)にスタートした「宗門総合振興計画」(3期10年)も、来年度は最終年度を迎え、賦課金の見直しや宗務組織の改革など関係各機関において種々検討されています。

沖縄特区においても、魅力あるお寺づくりをめざし、一人でも多くの方々に浄土真宗のみ教えが伝わるよう、共に協力して活動を展開してまいりましょう。

今後とも、沖縄特区並びに本願寺沖縄別院の活動にご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

合掌



もちつき大会

4年ぶりに沖縄別院と久米島布教所で開催



12月23日(土)に沖縄別院で、24日(日)には久米島布教所で、もちつき大会を開催しました。コロナ禍は中止していたため、4年ぶりの開催となりました。

別院では門信徒、関係者、伊祖自治会の方々が参加されました。伊祖自治会の英祖キッズの皆さんの太鼓演奏も行われ、にぎや

かなもちつき大会でした。久米島布教所も多くの方が参加され、つき手には自衛隊駐屯地の皆さんに協力いただきました。

別院、布教所とも、おもちを仏さまにお供えし、そして参加の皆さんと、つきたてのおいしいもちをいただきました。

初参式



11月12日(日)に光原智聡(みつはらちそう)さん(福井教区敦賀組即願寺)が沖縄別院で初参式を受けられました。初参式とは、赤ちゃんが仏の子として育ち、これからの人生を仏さまのお慈悲に包まれて生きていけるよう、人生の出発にあたり、その誕生を仏さまにご報告する式です。

ハイハイ!! 沖縄へようこそ

11月15日(水)に第5連区ビハラ熊本の皆さんが沖縄別院に参拝されました。



沖縄別院では、今後も皆さんのご参拝をお待ちしています。



法要の様子。導師の中岡所長を中心に、結衆は右から順に、宇垣さん、森井さん、高木さん、菊城さん、田川さん、大工廻さん。奏楽員は鹿児島教区雅友会有志の皆さん。ホールには有縁の多くの方々が参られた



閉会の挨拶をされる菊城法要委員長



記念講演で「柔らかな心」と題して話しされる釋徹宗師

沖縄特区 慶讃法要

12月1日(金) 午後1時30分からAIM・ユニバースでこのホール(小ホール)において沖縄県宗務特別区「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」を修行しました。

この法要は、宗祖親鸞聖人が誕生して850年、浄土真宗が開かれて800年、そして沖縄に開教を記念して、スローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに」、サブタイトルを「伝える、つなぐ、命どう宝」「命どう宝」は、「命こそ宝」の意として行われました。

中岡順忍法要事務所長の挨拶で始まり、岩尾秀紀師(特命布教

使・宮崎教区高千穂組浄光寺住職)の記念布教、慶讃法要と続きます。中岡所長が導師を務め、菊城元明法要委員長(真常寺)、高木正敏推進会議委員長(八重山本願寺布教所)、森井正則住職(西然寺)、田川秀平住職(平安寺)、宇垣満住職(浄光寺)、大工廻朝洋副住職(城徳寺)が結衆として出勤されました。結衆は、法要に向けて毎月一回の勤式練習会で習礼を重ね、出仕いただきました。勤式練習会で指導員(誓願寺)は会係として法要を取りまとめてくださいました。また、鹿児島教区雅友会有志の皆さまに雅楽を演奏いただきました。慶讃法要にあたっては事前に何



習礼をかさねて出仕された法中の皆さん

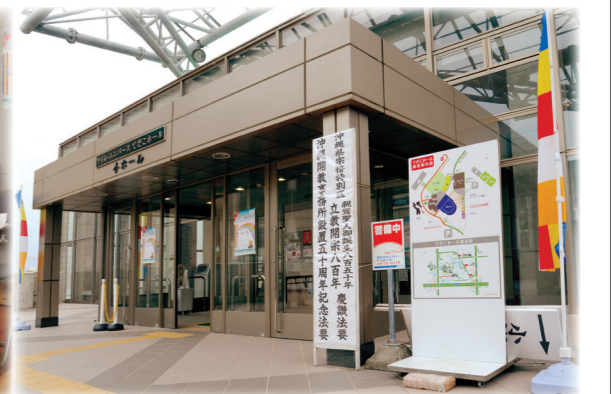
度も会議を重ね、沖縄特区内の寺院法中と関係者の皆さんに、誘導や受付などスタッフをお願いしました。

記念講演には釋徹宗師(相愛大学学長)にご講演いただきました。最後に菊城法要委員長の挨拶をもって閉会となりました。

全国から多くの方々のご参拝され、「いい法要でした」「釋先生の講話が聞きやすかったです」などの声がありました。



受付担当の特区内寺院・関係者の方々



「てだこホール」入口には仏旗があがった

来年2024(令和6)年12月1日(日)には沖縄別院を会場に、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要・沖縄別院設立20周年記念法要」を修行いたします。皆さまのお参りをお待ちしております。